

第 1 回 日本のすがたと産業

基本問題

1 日本の周辺の地域を示した右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 地図中のA～Dの国名をそれぞれ答えなさい。また、それぞれの国の説明を、次のア～エから1つずつ選びなさい。

ア 拉致問題などがあるため、日本との間に正式な国交がない。

イ 北方領土問題があるため、日本との間に平和条約が結ばれていない。

ウ 1972年に日本との間の国交が回復し、1978年には平和条約が結ばれた。

エ 1965年、佐藤栄作内閣のもとで、日本との間に基本条約が結ばれた。

□(2) 地図中のE～Hの海の説明を、次のア～エから1つずつ選びなさい。

ア 暖流の対馬海流が流れている。D国との間で領土問題となっている島がある。

イ 暖流の日本海流が流れている。大西洋・インド洋と共に三大洋とよばれる。

ウ 冬になると流氷がおしよせる。さけ・ます・すけとうだらなどの水産資源が豊富である。

エ 大陸だなどよばれる水深200mまでの浅い海底が広がる。

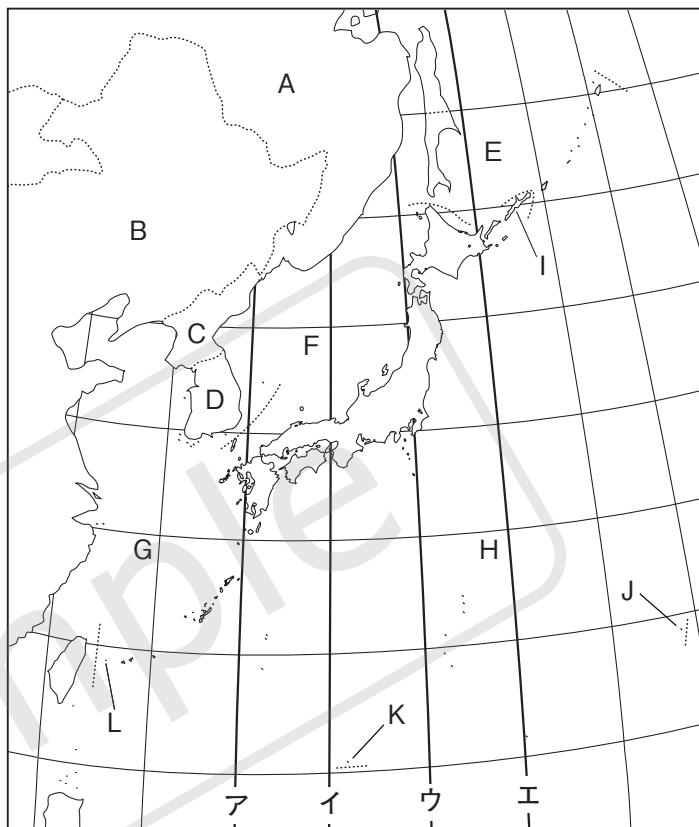
□(3) 地図中のI～Lは、いずれも日本の東西南北の端となっている島です。これらの島の名前を答えなさい。

□(4) Iの島と、Lの島の間のはどれくらいですか。次のア～エから1つ選びなさい。

ア 約1300km イ 約2300km ウ 約3300km エ 約4300km

□(5) Kの島は、沿岸から200カイリまでの水域を守るため、政府によって護岸工事がおこなわれたことで知られています。この水域を何といいますか。

□(6) 地図中のア～エの経線のうち、日本の標準時子午線となっているものを、1つ選びなさい。



(1)	A	国名	記号	B	国名	記号	
	C	国名	記号	D	国名	記号	
(2)	E	F	G	H	(3) I	島 J	島
(3)	K	島	L	島	(4)	(5)	水域 (6)

2 日本の農水産業について述べた次の文Ⅰ・Ⅱを読んで、あとの問いに答えなさい。

Ⅰ 日本では、各地で古くから①稲作がおこなわれてきました。日本の代表的な米の産地は、北海道の②石狩平野や(1)盆地、秋田県の秋田平野、山形県の(2)平野、宮城県の仙台平野、新潟県の越後平野です。宮城県では(3)、越後平野では(4)という品種が主力であり、中でも(4)は日本で最も多く作付けされている米の品種です。

日本では野菜づくりもさかんです。千葉県や兵庫県などでは、大都市に近いことをいかした(5)農業が、高知県や宮崎県では、暖かい気候をいかした、夏野菜の(6)栽培が、長野県や群馬県では、すずしい気候をいかした③高原野菜の生産がさかんです。一方、くだものづくりがさかんな山梨県の甲府盆地では、扇状地とよばれるゆるやかな傾斜地を利用して、ぶどうやももを生産しています。

Ⅱ 近年の水産業では、「④とる漁業」から「^{てんかん}育てる漁業」への⑤養殖漁業や、卵をふ化させて稚魚を放流する(7)漁業などが各地でおこなわれています。また、日本は水産物の輸入大国であり、その最大の輸入相手国は(8)です。輸入される魚介類で金額が多いのは、(9)・ます、えび、まぐろで、(9)・ますはチリやノルウェーから、えびはインド・ベトナム・インドネシアから多く輸入されています。

□(1) (1)～(9)にあてはまることばを答えなさい。

□(2) 下線部①「稲作」の作業である次のア～カを、作業がおこなわれる順に並べかえなさい。

ア 稲かり イ 代かき ウ 田植え エ 田起こし オ 脱穀 カ 中干し

□(3) 下線部②「石狩平野」では、泥炭地の改良のために、ほかの土地から土を運んで入れかえることがおこなわれました。このような土地改良を何といいますか。

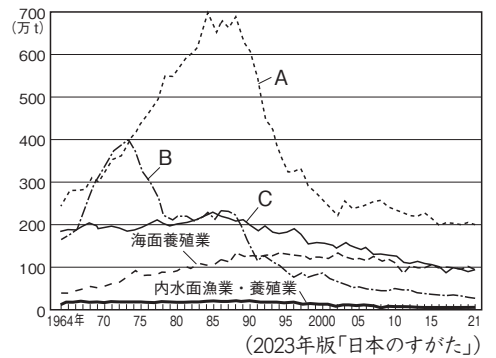
□(4) 下線部③「高原野菜」として生産されている野菜を、次のア～カからすべて選びなさい。

ア きゅうり イ レタス ウ はくさい エ なす オ キャベツ カ トマト

□(5) 下線部④「とる漁業」について、右のグラフは日本の漁業別の漁かく量をしめしたものです。A～Cにあてはまる漁業の種類を、次のア～ウから1つずつ選びなさい。

ア 遠洋漁業 イ 沖合漁業 ウ 沿岸漁業

□(6) 下線部⑤「養殖漁業」で生産される魚介類のうち、広島県や宮城県における生産量が多い貝類を答えなさい。



(1)	1	盆地	2	平野	3	
	4		5	農業	6	栽培
	7	漁業	8		9	
(2)	→ → → → →				(3)	(4)
(5)	A	B	C	(6)		

3 日本の工業・発電について述べた次の文Ⅰ・Ⅱを読んで、あとの問いに答えなさい。

Ⅰ 日本の工業地帯・地域は、(1)とよばれる、太平洋側の臨海部に集中しています。これは、①原料や燃料の(2)や、製品の(3)に便利であるからです。一方、日本の工業の中心となっている自動車工業の工場は、内陸部にあります。自動車工業の工場では、部品をつくる(4)工場から、使う部品を必要な分だけすぐに運ぶ(5)方式をとっています。かつて、日本の自動車生産は世界一でしたが、現在は中国が世界一となっています。

日本の貿易の特色は、工業原料を(2)して、製品を(3)する(6)貿易となっていますが、近年では②工業製品の(2)も多くなっています。

Ⅱ ③発電の方法には、さまざまな問題があります。水力発電では水をたくわえる(7)の建設に多くの費用がかかり、火力発電では、地球温暖化の原因となる(8)が排出されます。原子力発電では、(9)性廃棄物や使用済みの④核燃料の処理問題や、事故によって(9)性物質が拡散する危険性などが指摘されています。

□(1) (1)～(9)にあてはまることばを答えなさい。

□(2) 下線部①「原料や燃料」のうち、オーストラリアから最も多く輸入されている原料や燃料としてまちがっているものを、次のア～オから2つ選びなさい。

ア 石炭 イ 鉄鉱石 ウ 原油 エ 液化天然ガス オ 銅

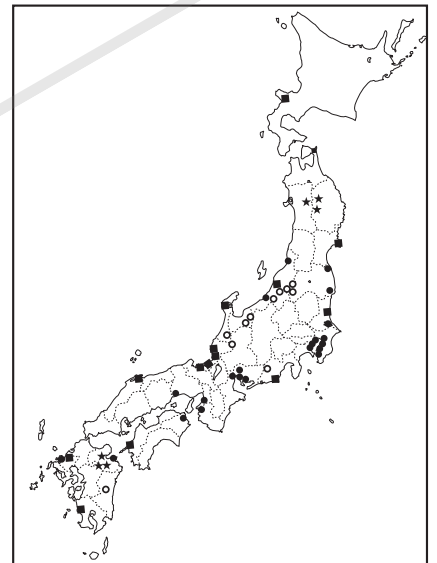
□(3) 下線部②「工業製品の(2)」が多い貿易港のうち、次のA・Bが(2)品の上位となっているものを、あとのア～エから1つずつ選びなさい(2021年)。

A 医薬品・通信機・コンピューター B たばこ・衣類
ア 東京港 イ 神戸港
ウ 名古屋港 エ 成田国際空港

□(4) 下線部③「発電の方法」別の発電所の分布を示した右の地図中の★・●・○・■は、どのような種類の発電所ですか。次のア～エから1つずつ選びなさい。

ア 水力 イ 火力 ウ 原子力 エ 地熱

□(5) 下線部④「核燃料」として用いられる物質を1つ挙げなさい。

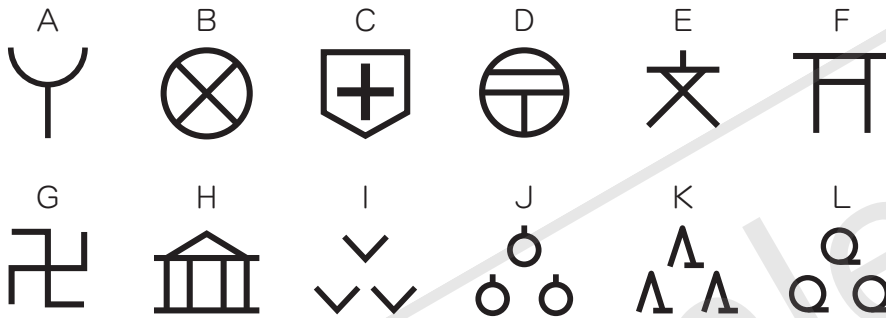


	1		2		3	
(1)	4	工場	5	方式	6	貿易
	7		8		9	性
(2)		(3) A		B	(4) ★	●
					○	■
(5)						

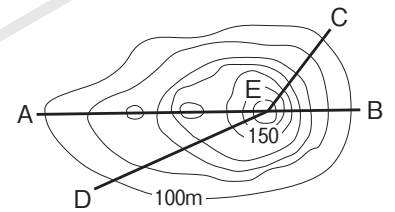
4 地形図について述べた次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本で①地形図をつくる仕事をおこなっているのは、(1)省に属する(2)という組織で、この組織は茨城県つくば市にあります。(2)が発行する1:25000の②縮尺の地形図は、③等高線が(3)mおきに、1:50000の縮尺の地形図は、等高線が(4)mおきに引かれています。実際のきょり1kmを縮尺1:25000の地形図上であらわした場合、その長さは(5)cmとなります。また、地形図で方位記号が記されていない場合、地図の右なめ上は八方位で(6)の方位となります。

- (1) (1)～(6)にあてはまることば・数字を答えなさい。
 □(2) 下線部①「地形図」には、さまざまな地図記号が記されています。次のA～Lの地図記号は何を示すものですか。それぞれ答えなさい。



- (3) 下線部②「縮尺」について、縮尺1:25000の地形図と、縮尺1:50000の地形図では、どちらがより広い範囲を示すことができますか。解答らんにあてはまるように答えなさい。
 □(4) 下線部③「等高線」について、等高線はじっさいの土地のかたむきを平面の地形図で確認できるようにしたものです。右の地形図に示された山に登る場合、なだらかな斜面で登りやすいのは、どのルートですか。次のア～エから1つ選びなさい。



ア A→E イ B→E ウ C→E エ D→E

- (5) 近年、日本では大きな地震や水害などが発生していることから、(2)は右のような地図記号をつくり、インターネット上の地図で公開しています。この地図記号が示すものを答えなさい。

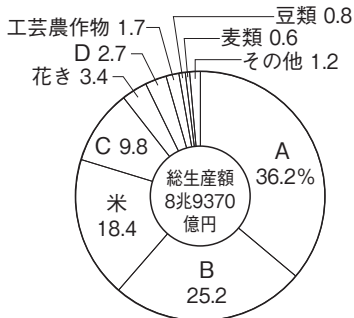


(1)	1	省	2		3	m
	4	m	5	cm	6	
(2)	A		B		C	
	D		E		F	
	G		H		I	
	J		K		L	
(3)	1 :	(4)	(5)			

練習問題

1 次の資料は、日本の農水産業に関するものです。これを見て、あとの問いに答えなさい。

資料1 農産物の生産額(2020年)

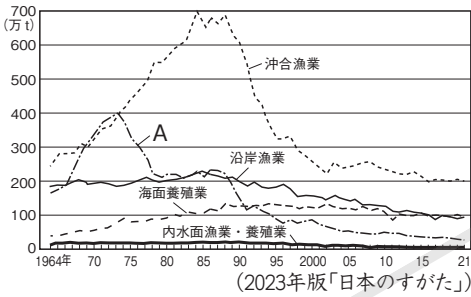


(2023年版「日本のすがた」など)

資料2 おもな食料の自給率(2021年度)と輸入先(2021年)

	自給率	おもな輸入先(単位%)
A	53%	アメリカ(29) タイ(15) オーストラリア(14)
B	57%	中国(18) チリ(10) アメリカ(8)
C	17%	アメリカ(44) カナダ(35) オーストラリア(21)
D	7%	アメリカ(76) ブラジル(15) カナダ(8)
E	39%	フィリピン(19) アメリカ(19) 中国(14)
F	79%	中国(49) アメリカ(15) 韓国(5)

資料3 漁業別の漁かく量の移りかわり

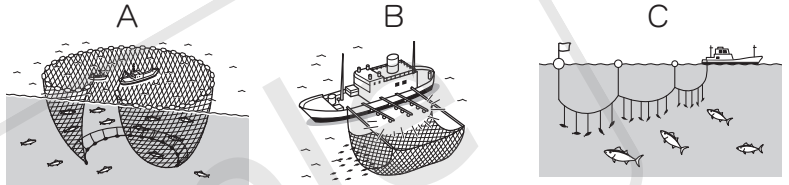


(2023年版「日本のすがた」)

※A・Bの輸入先は2020年

(2023年版「日本のすがた」など)

資料4 おもな漁法



- (1) 資料1のA～Dにあてはまる農産物を、次のア～エから1つずつ選びなさい。
 ア いも類 イ 野菜 ウ 畜産物 エ くだもの
- (2) 資料1に見られるように、米の生産額は現在、農産物の中で3位となっていますが、かつては1位でした。米の生産額の割合が低下してしまった理由を簡単に説明しなさい。
- (3) 資料2のA～Fにあてはまる食料の種類を、次のア～カから1つずつ選びなさい。
 ア 大豆 イ 小麦 ウ 野菜 エ くだもの オ 肉類 カ 魚介類
- (4) 資料2に見られるように、日本の食料自給率は全体的に低くなっています。
- ① 日本の食料自給率は、全体でおよそどれくらいですか。次のア～エから1つ選びなさい。
 ア 約10% イ 約25% ウ 約40% エ 約55%
- ② 外国から食料を輸入することは、地球環境にとってマイナスの面があります。それは何ですか。簡単に説明しなさい。
- (5) 資料3のAの漁業でおもにとれる魚を、次のア～エから1つ選びなさい。
 ア まぐろ イ いわし ウ さんま エ さば
- (6) 資料3のAの漁業は、かつては日本で最も多い漁かく量をほこっていましたが、1970年代におこったあるできごとをきっかけにして、漁かく量を大はばに減らしました。このできごととは何ですか。カタカナで答えなさい。
- (7) 資料3に見られるように、日本の漁かく量は以前に比べてだいぶ減っているため、「育てる漁業」が注目されるようになってきました。このような漁業のひとつに「栽培漁業」がありますが、これはどのような漁業ですか。簡単に説明しなさい。
- (8) 資料4のA～Cの漁法でとれる魚を、次のア～ウから1つずつ選びなさい。
 ア さんま イ まぐろ ウ いわし

(1)	A	B	C	D				
(2)								
(3)	A	B	C	D	E	F	(4) ①	
(4)	②							
(5)		(6)						
(7)								
(8)	A	B	C					

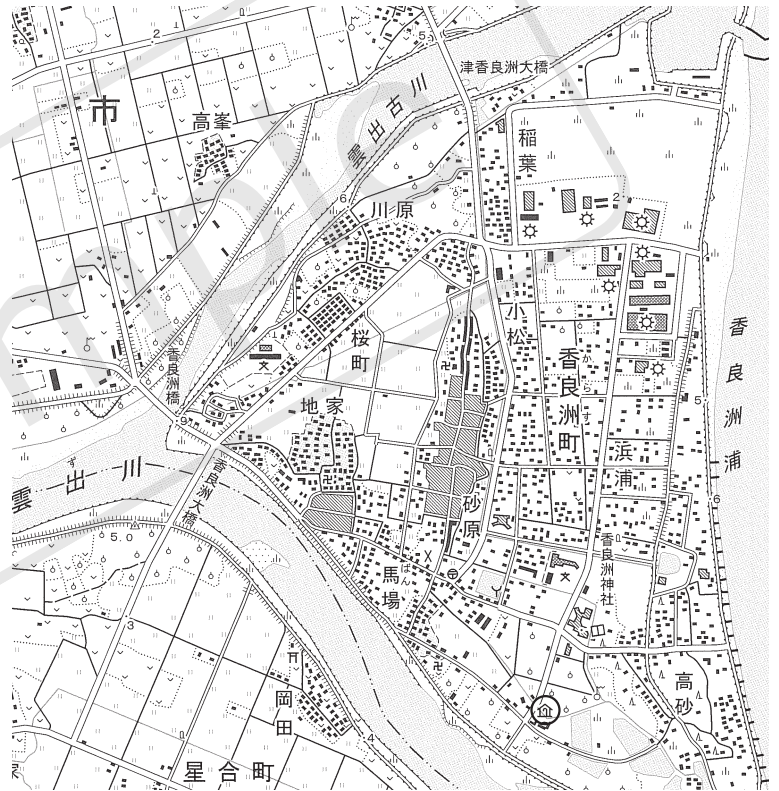
2 右の地形図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) この地形図では、等高線が10mおきに引かれています。この地形図の縮尺を、次のア～エから1つ選びなさい。
 ア 1:2500 イ 1:5000
 ウ 1:25000 エ 1:50000

- (2) この地形図上で16cm²の面積は、実際には何km²ですか。

(3) 次の①～⑥の文は、この地形図について説明したものです。文中の下線部について、正しければ○、まちがっていれば正しいことばを答えなさい。

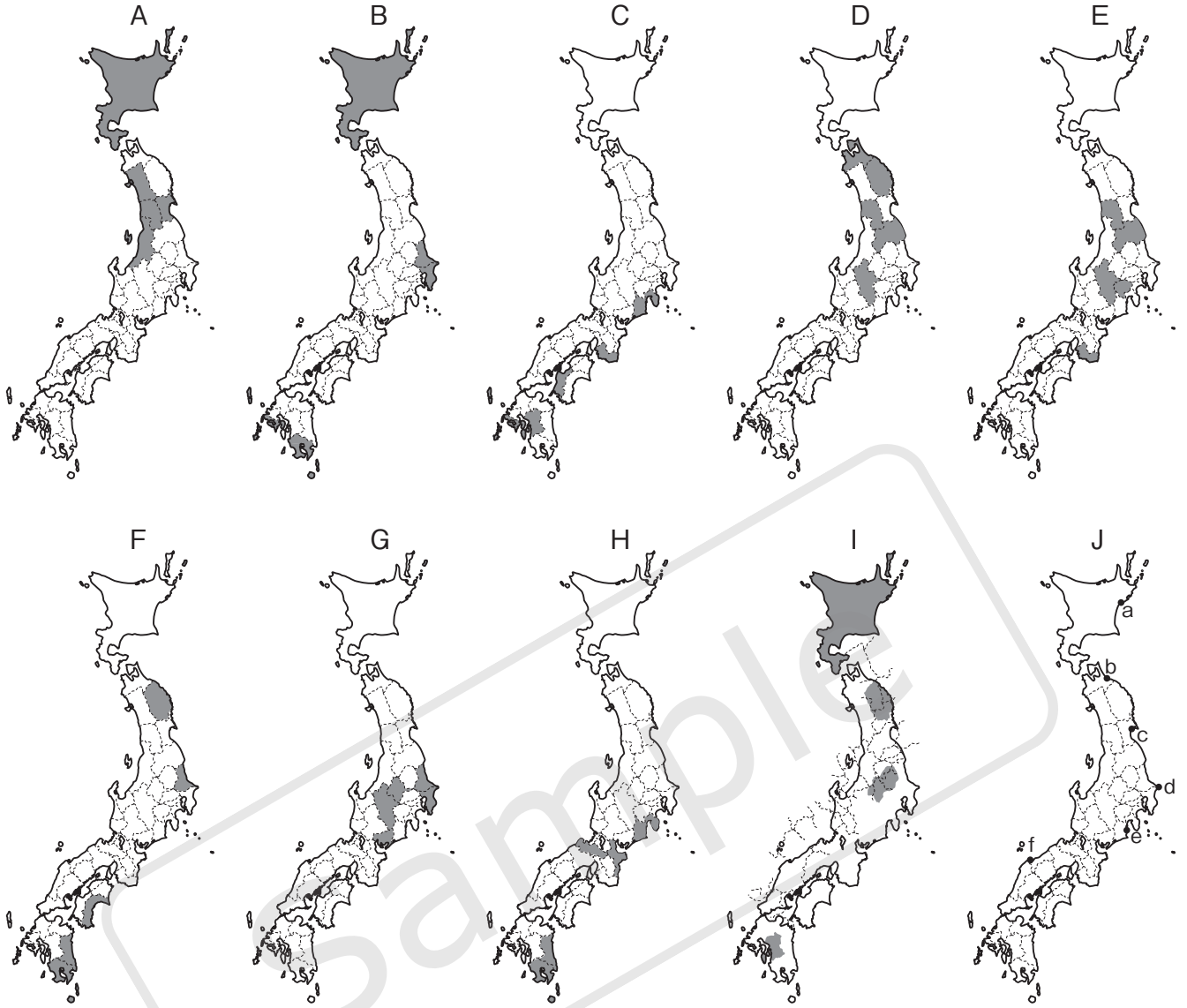
- ① 地形図中の○の部分には、図書館がある。
- ② 「香良洲大橋」から見ると、「津香良洲大橋」は北東の方位にある。
- ③ 地形図中には、きれいな四角形に耕地整理された、果樹園が多く見られる。
- ④ 地形図からは、扇状地という河川の河口付近に形成される地形が見てとれる。
- ⑤ 地形図中の「稲葉」の付近には、あれ地が広がっている。
- ⑥ 地形図中の「雲出川」は、東から西に向かって流れている。



(国土地理院「松阪港」)

(1)		(2)	km ²								
(3)	①				②				③		
	④				⑤				⑥		

㊦ 次のA～Jの地図を見て、あとの問いに答えなさい。



(I は2022年, J は2020年, ほかは2021年)

(2023年版「日本のすがた」)

□(1) A～Iの地図は、日本で生産されている農畜産物の生産量上位5都道府県を示したものです。

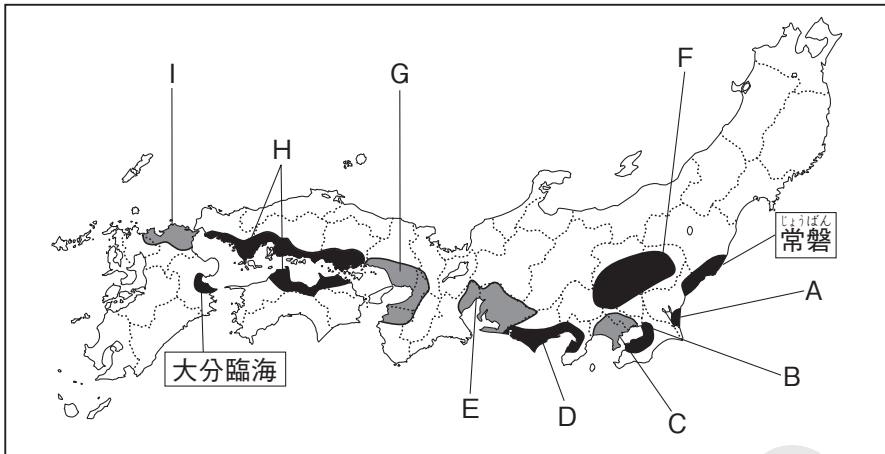
それぞれの農畜産物は何ですか。次のア～トから1つずつ選びなさい。

- | | | | | |
|--------|-------|---------|---------|----------------------------|
| ア 小麦 | イ 米 | ウ じゃがいも | エ さつまいも | オ りんご |
| カ みかん | キ ぶどう | ク もも | ケ キャベツ | コ レタス |
| サ ピーマン | シ なす | ス てんさい | セ さとうきび | ソ 茶 |
| タ たばこ | チ 肉用牛 | ツ 乳用牛 | テ ぶた | ト 肉用若鶏 <small>わかどり</small> |

□(2) Jの地図は、水あげ量が日本有数の漁港を示したものです。a～fの漁港の名前をそれぞれ答えなさい。

(1)	A	B	C	D	E	F	G	H	I
(2)	a	b		c					
	d	e		f					

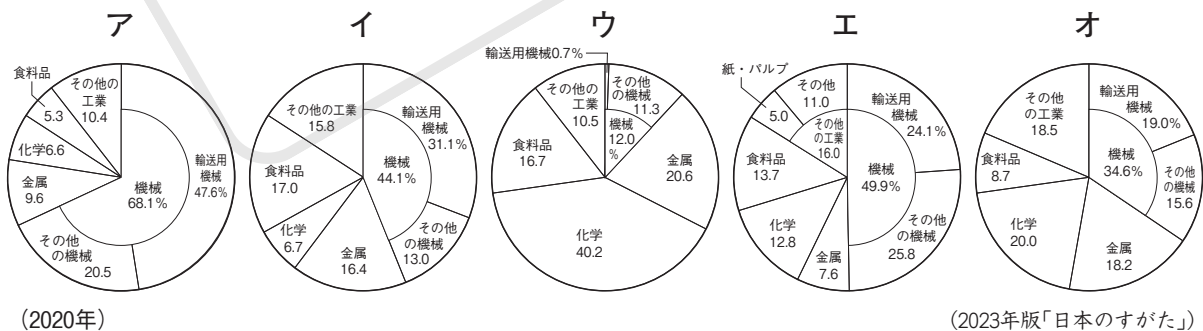
4 次の地図は、日本のおもな工業地帯・地域(北海道・沖縄を除く)を示したものです。これを見て、あとの問いに答えなさい。



□(1) A～Iの工業地帯・地域の名前を、それぞれ答えなさい。また、それぞれの工業地帯・地域の特色を、次のア～ケから1つずつ選びなさい。

- ア 高速道路や新幹線などの交通の便がよい。浜松では楽器の生産がさかんである。
- イ 1901年に操業を開始した八幡製鉄所を中心に発達した。現在は機械工業もさかんである。
- ウ 君津などで鉄鋼業が、市原などで石油化学工業が発達している。
- エ かつては養蚕がさかんであったが、現在では自動車などの機械工業がさかんである。
- オ 自動車や陶磁器・せいの生産がさかんである。生産額が日本一となっている。
- カ Y字型にほりこまれた港の周辺に、石油化学コンビナートや製鉄所が集まっている。
- キ 塩田や軍用地のあと地に工場がつくられて発達した。石油化学工業がさかんである。
- ク 製品出荷額に占める印刷業の割合が高い。自動車・造船などの機械工業も発達している。
- ケ せいの工業を中心に発達し、かつては生産額日本一であった。中小工場の割合が高い。

□(2) 次のグラフは、地図中のB・D・E・H・Iの工業地帯・地域の工業製品別出荷額の割合をまとめたものです。それぞれの工業地帯・地域のグラフを、次のア～オから1つずつ選びなさい。



(1)	A	工業地域	B	工業地域	C	工業地帯
	D	工業地域	E	工業地帯	F	工業地域
	G	工業地帯	H	工業地域	I	工業地帯(地域)
(2)	B	D	E	H	I	